

●発行月 令和4年9月
 ●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
 ●URL <https://chuo-hp.jp/>

《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHSによるDr.Direct Call
5. 24時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進

皮膚科のご紹介

✍ 森 康記 : 岩手県立中央病院 皮膚科長

いつも医療連携をしてくださる諸先生には感謝の念に堪えません。前回書かせていただいた2017年から事情も少々変わっておりますので今の当科の状況の紹介をさせていただきます。

皮膚科専門医2名(私と梁川志保)、岩手医大からの若手フレッシュな医師2名(古川真衣子、吉岡和佳子)の出向により合計4名、ローテートの初期研修医と共に診療に当たっております。

備忘録として当科の歴史を振り返ります。皮膚科の設立は古く昭和37年にまで遡りちょうど還暦で私と同じ年齢です。初代科長は故野口順一先生(東北大講師より転出)が長く勤められました。アトピー性皮膚炎の温泉・水治療、ステロイドを使用しない独特の治療で有名な先生で一時期盛岡がステロイド忌避患者の聖地になっていました。平成2年に岩手医大助教授であった赤坂俊英(前岩手医大皮膚科教授)先生が今村優子先生と常勤2人体制を開始、外来や入院診療の基礎を作られました。赤坂先生が大学に戻り平成4年より瀬川郁雄先生(現星が丘瀬川皮膚科クリニック)と中村浩昭先生(現中村・北條クリニック)に代わってからは研修医への熱い指導、近隣クリニックとの強固な関係性の構築、皮膚科関連手術に力を入れ入院や紹介患者の更なる増加をみています。その後瀬川先生の下には阿達直子、遠藤直樹、下瀬川雅子、村上圭子、及川東士、萩原一也、佐藤晴香、佐藤賢(敬称略)など個性豊かな医師たちが赴任しました。私は2007年から赴任していますが県内の内科、外科、整形外科、東北地方や関東、先日は何故か韓国からのご紹介もいただき誠にありがとうございます。ここで忘れないように記録しておきますが一緒に働いた医師は和田圭、菊池里奈子、岸隆行、時田智子、渡辺彩乃、丹治峻之、佐藤友利、高嶋真紀、加藤毬乃(敬称略)でありそれぞれの道で頑張っているようです。

当科で力をいれているのは、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬などの慢性皮膚疾患の治療と管理や指導です。アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬の治療は全身療法として免疫抑制剤、生物学的製剤の登場で劇的に進化しました。しかしいくら高額で有効な治療が登場しても内的、外的な増悪因子をそのままでは根本的解決にはなりません。何か生活上でカブレの原因となっているものはないか、薬剤性の原因はないか、飲酒、喫煙、偏った食生活はどうすればいいか患者さんといつも話し合っています。最近の重点疾患として化膿性汗腺炎(慢性膿皮症)が加わりました。皆様の患者さんで脇の下やお尻に化膿した瘻孔が多数あっていつも切開しているような方はいらっ

しゃいませんか?そういう方は早めに生物学的製剤を使用すると劇的に改善する可能性がありますのでぜひご紹介ください。

また岩手県二次救急搬送第1位の急性期病院の性格上、大学では経験できない感じの患者さんに毎日のようにお会いします。引きこもりの方の重度褥瘡や何年も入浴していないアカツキ病、全身びらんの水疱性類天疱瘡、マムシを含む動物咬傷、高齢者の下肢蜂窩織炎もいらっやいます。PAD(ASO)や糖尿病性壊疽などの循環障害も多いのですが当院循環器内科が血管内治療を積極的に施行していますので整形外科の先生と共に協力して治療にあっております。

こういう日常ですので外来は紹介状必須の完全予約制にしております。従ってざ瘡(ニキビ)や白癬などのcommon diseaseはお近くの皮膚科にお世話になってます。

2017年に当院に待望の形成外科が誕生し木村裕明科長のもと褥瘡や難治性皮膚潰瘍などの治療は互いに連携をとり1+1が3、それに皮膚・排泄ケア認定看護師(十文字晴美、熊谷久美(敬称略))が加わり10のパワーになってきたと感じています。

以上長くなりましたが新型コロナ感染症対策の発熱外来等でご多忙な先生方のご健勝を祈念するとともに今後ともご紹介をよろしくお願い申し上げます。



放射線技術科の紹介

岩手県立中央病院
放射線技術科副技師長
📄 武田 大樹



当院の放射線技術科には、診療放射線技師39名、補助員3名が在籍しています。

当院の設備としては、骨一般撮影装置7台、マンモグラフィ装置、骨塩定量装置、歯科パノラマ/セファロ撮影装置、ポータブルX線装置5台、診断用X線CT装置5台、MRI装置2台、放射線治療装置2台、核医学検査装置、PET-CT装置、X線TV装置6台、結石破碎装置、血管撮影装置4台、ハイブリッド手術室用血管撮影装置が整備されています。その中でも血管撮影装置は主に循環器用2台、脳血管用1台、腹部血管用1台にハイブリッド手術室といった、用途に合わせた専用機器が整備され、緊急対応も含め24時間稼働する体制を整えています。放射線治療部門では腫瘍への放射線量集中と正常組織への負担軽減を目的とした強度変調放射線治療（IMRT・VMAT）などの高精度放射線治療も実施しています。令和4年度には3テスラMRIが更新整備される予定で、より高精度および最新技術を使用した画像を提供することが可能となります。

多岐にわたる装置を担当する診療放射線技師もそれぞれ専門の認定者・資格者を揃えており、医学物理士や放射線治療専門技師、血管撮影・IVR専門診療放射線技師、X線CT認定技師、磁気共鳴専門技術者、検診マンモグラフィ撮影技術認定、医療情報技師、医用画像情報専門技師などが実際の現場で活躍しております。

令和2年6月より救命救急センターの一角に、骨一般撮影装置とX線CT装置が整備された救急撮影室が2室設置されました（1室増設）。それに伴い夜間休日の救急撮影室担当人員も2名に増員し、

毎日多くの救急車を受け入れる当救命救急センターにおいて素早く画像診断を行い治療に貢献出来るよう日々励んでおります。

当放射線技術科ではチーム医療の推進に努めております。放射線科医師のもと放射線科看護師と協力し、患者情報を共有しながらお互いの強みを最大限活かし一丸となって業務に励んでおります。また、救命救急センターでのSTAT（緊急）画像の医師への報告も積極的に取り組んでいる1つです。部門内勉強会や各個人が参加する研修会などで画像所見の知識を習得し、異常と思われる所見を積極的に医師に報告する読影補助を行うことで、その後の素早い処置に移行出来るよう努めております。また、世の中の放射線被ばくに対する関心の高まりと医療放射線の安全管理の観点より、被ばく線量の管理や被ばくに関する患者への説明などにも取り組んでおります。

当院には多くの診療科があり、放射線技術科としても様々な症例に対応しなければなりません。それでも多くを学べる環境でもあり、専門性を高めつつ良質で安全な診療に貢献する役割が求められています。



放射線技術科の佐々木技師長はロードバイクが趣味で、早朝の岩山展望台から市内を眺めております。新型コロナウイルス感染症で混迷としている世の中にあって、写真のように一日でも早く晴れ渡る清々しい日々が来ることを願い、地域の診療に貢献出来るよう努めて参ります。



登録医ご紹介コーナー

盛岡市本町通の 「真山池田医院」 をご紹介します

岩手県立中央病院の先生方、看護師さん、そして医療連携室の皆様には、日頃より大変お世話になっております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当院は県立中央病院より徒歩約10分の距離にあり、近隣には盛岡市民のソウルフード『福田パン』の本店があります。

スタッフは医師1名、看護師3名、医療事務員2名です。

診療科目は内科・胃腸科・呼吸器科です。

昭和35年に私の義父にあたる前院長が開業し、現在の場所に移って47年、私が引き継いで40年になります。法人名の『誠心会』には誠実に、真心をもって患者さんと向き合っていくという意味がこめられています。

ほかの医療機関と同様、通常の外来診療に加えコロナ検査、コロナワクチン接種、盛岡市の特定健診と各種成人検診を行っております。



また、約20年前から外来診療と並行して訪問診療も行っており、常時約100名の患者さんを在宅で診させていただいております。24時間365日オンコール状態で看取りまで対応していますので、大変な事もありますがライフワークとしてもう少し頑張りたいと思っています。

在宅医療もチーム医療です。訪問看護師、ケアマネジャー、介護スタッフそして、患者さんのご家族など多くの方々の協力の上に成り立っています。

常日頃、できるだけ在宅で医療を完結する事を心がけておりますが、どうしても後方支援病院への紹介が必要になるケースがあります。診療時間内はもちろん、夜間、休日問わず、いつ連絡しても快く患者さんを受け入れてくださる県立中央病院の様な後方支援病院の存在が、在宅医療に携わっている医師の一人として非常に心強いです。

☞ 真山池田医院：院長 池田 富好



住所	〒020-0015 岩手県盛岡市本町通3-19-32					
電話	t e l 019-623-7151 f a x 019-623-7153					
診療科目	内科 胃腸科 呼吸器科					
診療時間						
■午前 9:00~12:30						
月	火	水	木	金	土	日
●	●	●	●	●	9:00-13:00	休
■午後 14:00~18:00						
月	火	水	木	金	土	日
●	●	14:00-16:00	●	●	休	休
休診日	土曜日午後・日曜日・祝日					

診療放射線技術科からのお知らせ

✓ MRI装置の更新について

当院では、現在1.5テスラのMRI装置を2台保有しておりますが、そのうち1台を3テスラへ更新予定となっております。

詳しい日程については現時点では未定ですが、12月頃より作業を開始する予定です。

作業完了までの期間は1台での運用となりますので、当院でのMRI検査をお申し込みいただいた際、予約日をかなりお待たせしてしまうことが予想されますが、3テスラの導入完了後は、より鮮明な画像が撮像可能となりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。



✓ PET検査装置の故障について

現在、当院のPET検査装置が故障し、修復の目処が立っていない状況です。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、PET-CT検査のご依頼をお受けすることができませんので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

地域医療福祉連携室からのごお願い

当院では、病院とかかりつけ医の病診連携と機能分担「2人の主治医」を推進しており、診療情報提供書をお持ちの患者さんを優先して診察しております。

患者さんの待ち時間を短縮し、円滑な診療が行えるよう、**ご紹介いただく際は、FAXでの診療予約をお願いいたします。**

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、完全予約制とさせていただいている診療科や、当日の外来の状況によっては、予約を取り直して後日来院いただくこともございますので、事前予約にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、緊急受診が必要な場合のご相談については、お手数ですが各診療科医師へお電話いただきますようお願いいたします。

当院への患者紹介方法、各外来の診療予定や外来担当医表については、当院ホームページ、地域医療福祉連携室のページへ掲載しております。



- 診療申込書や診療情報提供書
 - 入院患者さんの情報提供書類 など
- 患者さんに関する書類はこちらのFAX番号へお願いします。**

地域医療福祉連携室(直通)
TEL 019-622-9996
FAX 019-654-5052